

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミⅡ	チーム名	チーム震災
タイトル	経済復興～大震災から立ち上がる～		
テーマ群	g) その他		
メンバー	・石井建司・大内健史・仁木俊輔・登山恭平・細川宏治・松本修二・高松由香里・矢野優太・柳伸樹・南桃香・渡辺信大・八束由紀・久保田佳奈		
研究計画内容	<p>私たち、小山ゼミのチーム震災は東日本大震災の復興を”経済”という視点から考えていく。今回は大きく分けて2つの視点から見ていく。まず1つは、過去の震災から学ぶということである。関東大震災、阪神・淡路大震災という過去の2つの大震災では、政策としてうまくいかなかった部分が多々あった。その事実を知り、東日本大震災の復興に活かせる教訓はないのか見ていく。次に、日本経済に影響を与え続けるエネルギーの問題、特に電力などにスポットをあてて見ていく。</p> <p>では具体的に、まず過去の震災の教訓を活かすということについては、東日本大震災における政策の失敗と思われることがある。政策の財政支出が不十分であったことや、当時の金融政策が引き締め気味であったためデフレであったこと、などである。また、阪神・淡路大震災からの教訓としては、当時は人的または住家の被害調査の実施が明確ではなく、判定基準、調査体制、方法などについても具体的な基準がなかったため効率が悪かった。</p> <p>以上のような教訓とそれをどう活かすのかということをもっと多くの事例と、もっと深く掘った改善点などを考えていく。</p> <p>次に、エネルギーの問題だが、キーワードとして”リスク分散”そして”電力問題”をあげる。リスク分散については現在も盛んに行われているが、首都機能・本社機能・生産体制を分散できるという点から、海外への分散も、今後一層盛んになると考えられる。そのメリットや今後の企業の動きを考える。電力問題については、原子力発電と火力発電の比較から、もっと根本的なエネルギー政策が必要であるということを述べていきたい。</p> <p>最後に、私たちのチームが考える経済復興の形を示していきたい。</p>		